き まな しんこう きょうくん **総 題 「ヨシュア記に学ぶ信仰の教訓」**

だいはち か しんこう きょじん じゅういちがつにじゅうににち 第8課 信仰の巨人ーヨシュアとカレブ(11月22日)

たかはしゅうき

いち あんそくにちご ご **1.安息日午後**

あんしょうせいく [**暗唱聖句**]

あなたがたに神の言葉を語った指導者たちのことを、思い出しなさい。彼らの生涯の終わりをしっかり見て、その信仰を見倣いなさい。(ヘブライ 1 3:



なな しんきょうどうゃく 7、新共同訳)

人は生きていく中で、周りの人たちから影響を受けています。特に子どもは、親や兄弟、先生、友だちの話し方や行動を見て真似をする中で、様々なことを学んでいきます。大人になっても、見るものや聞くものに他人からの影響を受けることがたくさんあります。だから、わたしたちは何をお手本とするかがとても大切です。

に にちょうび ちゅうじつ 2. **日曜日: 忠 実さ**



カレブという名前は、ヘブライ語の「ケレブ」という言葉からきており、それには「僕の勇気」「粘り強さ」「主人への**1 忠実さ」という意味があります。カレブはその名の通り、神様への**1 忠実さを表して生きていました。特に、12人がカナンへどんな食べ物があるのか敵はどんな人かを調べて行って、その報告をした時には、カレブとヨシュアだけが、信仰を持って恐れることなくその土地へ行くべきだと主張しました。(民数記14:7-9) その時、カ

レブとヨシュアは人々から反対され、石で打ち殺されそうになりましたが、それでも彼らは神様への^{※1} 忠 実を 表 しました。

*1 忠 実:まごころを込めて真面目に従うこと

^{さん げっょうび} 3. 月曜日:「この山地をわたしにください」



ヨシュア記 1 4 章 8 節には、カレブが 心 から完全に神様に 従っていたが が かいら完全に神様に 従っていた 姿 が書かれています。それは、カナンが恐ろしい町だと 主 張 した他の10 にんとは全く異なりました。カレブは、神様がモーセを通して与えて下さった物 束を決して忘れず、8 5 歳になっても神様に 従い続け、約束された 土地を求めました。高齢になっても神様に 従い続ける信仰の模範です。



はん かょうび てほん ちから **4. 火曜日:手本の力**

カレブは、デビル(キルヤド・セフェル)という町を占領したオトニエルに、娘のアクサを嫁がせました(ヨシュア15:16-19)。おそらく、オトニエルはカレブを手本として、彼と同じように勇気と信仰を持っていたのでしょう。オトニエルは後に、イスラエルの人々のために土師として立てられ、神様に用いられました(土師記3:7-11)。





で すいようび けんきょ えいゆう **5. 水曜日:謙虚な英雄**

土地を分ける時、ヨシュアの非常に謙虚な姿が表されています。ヨシュアは、イスラエルの民を率いたリーダーでありながら、分けた土地をもらえたのは一番最後でした。しかも彼が受け取ったのは「ティムナト・セラ」という地味で潰れた町で、もう一度立て直すには苦労する場所でした。しかし「ティムナト・セラ」は、聖所に近い場所であり、大切な土地だったのです。ヨシュアの心は、土地の豊かさではなく、いつも神様に向けられていたのでした。

ろく もくょうび じゅくりょ 6. 木曜日: 熟慮によって変わる

わたしたちにとって、カレブやヨシュアのような、聖書に出てくる信仰の人を手本として学ぶことは非常に大切です。しかし、忘れてはいけないのは、わたしたちの1番の手本はイエス様だということです。聖書を通してイエス様を見ることで、わたしたちは神様の愛を知ることができ、それによってわたしたちの心が変えられていきます。

エコリント3章 18節には「わたしたちは皆、顔の覆いを除かれて、鏡のように主の栄光を映し出しながら、栄光から栄光へと、主と同じ姿に造りかえられていきます。これは主の霊の はたら **働きによることです。」**とあります。これは、幼虫がサナギになって 蝶へ変わるように、全く違



うものに変えられることを意味します。わたしたちの心をイエス様に似たものへ変えていただくために、日々、神様に従うことを選びたいと思います。

- いち しんこう てほん ひと かた 1) 信仰の手本となる人はいますか。その方は、どのような人ですか。(聖書の人物でも、身近な人でも)
- 2) ヨシュアは、土地の豊かさよりも、聖所の近くに住むことを1番にしました。ここから学べることは何でしょうか。あなたは何を1番にして生きていきたいですか。